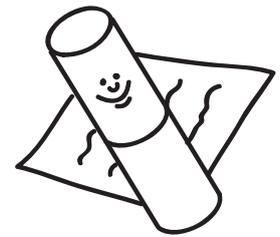


 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

森の恵み（2）

森の奥深いところは木々がうっそうとしていて、小さな木や草花はなかなか健全に育ちません。しかし林縁部では風上風下を問わず適度に風当たりを防いでくれるので、日陰に強い植物に限らず様々な木々がその土地の厳しい環境に耐え、すくすくと育つことがよくあります。終日日当りを必要とする植物はごく一部なので、森林の縁をよく観察するといままで気がつかなかった事実を知り、新鮮なアイデアや感覚を得ることが出来ると思います。最近では林内、林縁を活用したガーデンがあります。ヤマボウシ、シャクナゲ類、ノリウツギやヤマアジサイの仲間のほかハイイヌガヤ、ツルシキミ、ギボウシ、シダ類などを活用してはいかがでしょうか。（かわはら）



今月の便り

春庭のパンジービオラ

3月に入り、庭の雪山が低くなりました。未だ北風も、残雪の名残で庭は冷えた状態ですが、草花や小球根の芽吹きの確認が楽しくなるガーデニングシーズンの始まり。月末に入ると雪は消えて、庭の概要がハッキリし被害確認もでき始めますが、北風にも負けず庭を彩ってくれるパンジー、ビオラ達。近年は個人育種家のパンジービオラが人気で、バリエーションの広さは、目を疑うほど魅力的な苗が出揃っています。昨年秋の苗は雪の下で越冬済で、もりもりし始めてくるので、施肥や傷んだ葉などのお手入れはしっかりしましょう。店舗に春先出回る苗も寄せ植えやハンギングバスケット又は庭植えで6月迄開花を楽しむことも出来ます。生育管理の注意点は、水やりと花柄摘み、施肥が多いと病害発生にも注意。自分の庭の彩りに会うパンジービオラの植栽で、華やかな庭造りを楽しみましょう。（たかはし）

花や野菜を種から育ててみませんか

種から育てるなんて、初心者にはムリムリ！もしかしたらそう思っていないませんか？種の発芽は人を選びません。プロでなくても次の要領で種蒔きをすると、初心者の貴方も必ず発芽します。では、種はいつ播くの（・・・？ 春と秋の2回ですが、北海道は春とは言え寒さが厳しいので、育苗ポットで3月中旬、秋は8月中過ぎ直播の年2回です。発芽に必要な温度は、15～20℃ですが種類によっては、25℃前後必要とする物もあります（発芽温度は種袋に必ず書いてあります）。どんな土に播くの（・・・？ 保水性があり、水はけの良い土なら花壇の土でも構いませんが、病原菌や虫の卵等が混入している場合があるので、出来れば市販の「種まき用の土」の購入を推奨いたします。種はどんなふう播くの（・・・？ 苗床に水をやり十分湿らす⇒種をポットに2～3粒播く。播いた後は、種を指先で軽く抑え土に密着させる。好光性の種は、土をかけないか土を極薄くかけ、嫌光性の種は、種の3～4倍覆土する⇒霧吹き等で土を湿らす。好光性の種か嫌光性の種かは袋裏面に記載されています。肥料は（・・・？ 4枚葉以上になってから液肥か置き肥を与える。種播きで他に注意することは（・・・？ 種播きしたポットやトレイは、室内の日当たりのいい場所に置きましょう。発芽後あまり直射日光がきつときはレースのカーテン等しないと葉がやけどします。発芽後勢いの良い株を残して、他は間引きをお忘れなく。（ながやす）

*「今月の便り」次ページへつづく⇒

回転草 (タンブルウィード)

風散布で種子を広げる植物の仲間には回転草があります。アメリカ開拓時代の物語を読んでいたならその「回転草」(タンブルウィード)が出てきました。実物を見たことはありませんが、時折海外ニュースに「回転草が沢山転がってきて家が埋まった」というようなびっくり画像が出る場合があります。時に人間の生活を脅かす程のようです。回転草というのは特定の植物の名前ではなく乾燥気味な土地で成熟して枯れた草が強風で折れてコロコロと転がり種子を撒き散らす植物をそう呼ぶそうで、世界各地で種類は様々です。乾燥する広い平原で強風が吹く大地に育つ植物の見事な生存戦略です。湿潤温暖で平地が狭い日本では見られないのも納得。アメリカではロシアアザミという帰化植物の名前がよく挙げられています。野草の生態は知ってみるととても面白いと思います。雪解けにはまだしばらくかかりますが、春には是非育てない人も植物の観察を楽しんでみてください。(きのした)

ヒメツルソバ

3月になると色彩館のツルバラが咲きだしますが足元の小さい花もかわいらしく咲いています。ヒメツルソバの花は金平糖のような形をしていて開花直後はピンク色、徐々に色が抜けて白へとなります。花期は5~6月頃から秋にかけてですが、温室内ではほぼ1年中咲いています。茎は匍匐(ほふく)性で葉のある部分が土に接しているとそこから発根し、1株で直径50cmほどに広がることも。種まきや株分け、挿し木などでかんたんに増やすことが可能なほとんど手のかからない植物であるため、本州では空き地や道端などで雑草化しているそうです。ヒマラヤ原産ですが耐寒性は弱く-5℃程度までしか生きられずこの辺では屋外越冬はできません。ヒメツルソバの葉には茶色のV字型の特徴的な模様が入り、冬に向けて気温が下がると紅葉します。タデ科の植物には葉に同様の模様が入るものが多く「ミズヒキ」や「イヌタデ」にも同じようなV字の模様が見られます。(いとう)

光を好む種と嫌う種

家庭菜園やガーデニングをなさっている方は、一度は耳にしたことがある「好光性種子(こうこうせいしゅし)」と「嫌光性種子(けんこうせいしゅし)」ですが、「まき方は・この植物はどっち(・・?)」と疑問が次々とわいてくると思います。超簡単にいうと、発芽に光が必要な種子=好光性種子、発芽に光が必要ない種子=嫌光性種子です。種の発芽要因は、水分・酸素・湿度・光この4つの要素が植物にとって理想的な状態になったとき発芽します。理想的な状態、最適条件は植物によってそれぞれ異なります。その植物にとってベストな状態を作り出すことができれば、「種まきで芽が出ない…」と言う失敗はほぼなくなります好光性種子のまき方は、覆土をしない、若しくは極薄く覆土をする。嫌光性種子のまき方は、まき床に2~3cm穴やすじを開け、そこに種をまき覆土します。ただし、穴の深さ、覆土の厚さは、種のサイズや品質によっても異なります。エンドウ・インゲン・ソラマメ・ほうれん草・トウキビなど光が発芽に影響しない植物もあります。



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第八十九回

ハイブリッドルゴサローズ

ハンザランド

Hansaland®

作出国：ドイツ

作出者：Kordes

作出年：1993年

ハーディネスゾーン：Z6

繰り返し咲き

交配：未公開

バラは雪の中でゆっくり休んでいたことと思いますが、ヒトのほうはせっせと雪かきをしていました。今シーズンは岩見沢だけではなく、札幌方面も大雪でしたね。みなさま雪かきお疲れ様です。今年は雪に守られ凍害の心配は少なくて済みそうですが、予想外の大雪に見舞われた地域は枝折れが心配ですね。大雪前提で雪囲いをしている岩見沢でも、昨シーズンの異常な降雪には参りました。今シーズンはどうでしょうか。雪かきでひいひい言ったあとに、囲いを開けて「ひい〜〜（泣）」とならないことを祈っています。

さて本題、園内入口に最初に咲いている赤いバラはハンザランドといいます。本当にすがすがしくも深みのある綺麗な赤色で、初夏の青空に良く映え、秋には山の紅葉を借景によく調和してくれます。やや早咲きで繰り返し咲き性がとても強く、他のバラの一番花が終わるころには、すでに元氣よく二番花をあげています。花径は約7~8cmほどの中~大輪で花弁9~16枚ほどのセミダブルですが、やや波打つ丸弁は八重咲きにも劣らないボリュームがあり華やかです。ハイブリッドルゴサらしい葉ですが、ハマナシの葉と比べシワやツヤがおとなしく、上品な革のような質感がありま

す。耐寒性はゾーン6と数字的には微妙ですが、岩見沢では問題なく寒さに弱い感じも見受けられません。毎年バラをみていると、ハーディネスゾーンはあくまで目安で、やはり系統や血筋での見極めも大事かと感じます。使い方ですが、樹勢が強く立ち上がり横にも広がる樹形なので、他のバラと合わせてひと株で植栽するよりも、こんもりとかたまりで植えたほうが良さが活きるかと思います。剪定は悪い枝を取り除き、割り箸くらいの太さで切る程度が良いですが、温暖地は蒸れないよう少し枝を透かしたほうが良いかもしれません。

ドイツのKordes作出で交配は未公開です。ハイブリッドルゴサでは珍しい赤色。同じく赤色HRgのリンダキャンベルは赤色のミニチュア系とルゴサの交配となりますので、こちらも赤色のバラとルゴサの交配かと思われそうですが想像の域は出ません。交配不明や未公開、最近多いような気がしますがそう言われると知りたくなくなってしまいます…。明記はされていないのですが、名前は北ドイツにある遊園地に由来しているかと思われま。また‘Charles Notcutt’という別名をもち、こちらはイギリスのガーデンセンターを経営する会長の名を冠し、同国ではこの名前が流通しています。

令和4年度 いわみざわ公園バラ園作業ボランティア『トムテ』のなかま 募集 バラ園と一緒に育みませんか？



皆様にもっと親しんでいただけるバラ園になっていきたいという想いを込めて、作業ボランティアを募集しています。『トムテ』とはボランティアの愛称で、そのお家のお手伝いをしたり守ってくれる、スウェーデンの妖精の名前です。

今年から活動日を増設!活動しやすくなりました!
バラ管理以外に、宿根草や一年草の手入れもあります。

活動日

- ①木・金曜日(定例活動日)
- ②『ばらゼミ』開催日の午後から
- ③その他自由

参加には登録が必要です。詳しくはお気軽にお問い合わせください

お問い合わせ先 いわみざわ公園バラ園(室内公園 色彩館)
〒068-0833 岩見沢市志文町794番地 TEL 0126-25-6111
URL: <http://www.iwamizawa-park.com> Eメール: info@iwamizawa-park.com

今月の市民園芸講座のご案内



- 3月12日(土) 13:00~15:00 色彩館でスケッチしよう
料金:無料 定員:10名 講師:藤川志朗さん イラストレーター
- 3月26日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ①バラの系統と特徴
料金:無料 定員:18名 講師:古舘杏奈さん ローズグロワー
- 3月27日(日) 13:00~15:00 家庭果樹の楽しい管理
料金:無料 定員:18名 講師:稲川裕さん 中央農業試験場

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。
電話:0126-25-6111 ホームページ:<http://www.iwamizawa-park.com/>
※材料費のかかる講座は、講師の方の準備等の都合上、開催日3~4日前までにお申込みをお願いいたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、以下の点についてご了承ください。

- × マスクの着用がない方
- × 37.0℃以上の熱がある方

上記に該当する方は受講をご遠慮いただいております。

- ・定員制限を設けているため、定員に達してしまいお申込みを受け付けられないことが頻繁にあります。連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- ・事前申し込み無しに当日に飛び入り参加される方は、定員制限などの関係から受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・密集を避ける為、各講座の定員につきましては予告なく変更する場合がございます。
- ・換気の為、窓・扉を開放いたします。暖かい格好でお越しください。
- ・密接を避けるため、講座中の私語は謹んでいただきますようお願いいたします。